マルヨ新潟会
災害防止協議会設立総会開催

新潟会会報

写真上　災害防止協議会全景
写真左　講師　大石久和氏

去る一月二十九日（金）ＡＮＡクラウンプラザホテル新潟　芙蓉の間において、マルヨ新潟会の発足と合わせて、マルヨ新潟会災害防止協議会の設立総会を、開催しました。

当日は、マルヨ新潟会設立に参加いただいた協議会会員五十五社全員の参加をいただき、盛会裏に開催する事が出来ました。

新年早々の大変忙しい時期にも関わらず、全社参加頂きありがとうございました。

講和について

１９９０年半ば辺りから急速なインターネットの普及、そして近年のスマートフォン普及によって、我々は多くの情報を得ることが可能となりました。当然テレビや新聞からも普段情報が入りますが、自分が得た情報が正しい「判断」材料となる情報なのか定かでない場合があります。今回大石所長の講和の中で多く国民が「日本が輸出大国」であると思っているが、実は輸出額はＧＤＰ比で14％程度であり、ドイツや韓国に大きく引き離されているという事、アメリカなどでもインフラ整備に多額の予算を付けているなど教えて頂きました。今現在の日本そして諸外国の情報・実情を分かった上で判断が必要だと思いました。

インフラ整備についてですが、私自身もプライベートでも仕事においてもインフラ整備の恩恵を多々受けていると思いますし、先日取引先のかなり年配の方が「昔東京から新潟に出張するのに、上野から夜行列車で新潟に来ていました」と言ってました。今では新幹線のお陰で簡単に遠くへ行くことができます。それによる経済活動は計り知れないと思います。公共事業とは建設業で働く人にとって必要というより、国民にとって必要であると理解して貰えたらと思います。以前にある記事で、新聞は日本全国どこでも同じ価格で売っているとそれは談合ではないか？それに対して新聞は、新聞を安くすると記者への支払いも下がり記事の質が落ちる。これは国民にとって不利益だ。というような記事を見ましたが、公共工事はいつも批判され残念です。

近い将来、更なる高齢化社会、国内市場の縮小が急速に進んでいく中、国の将来の為に必要なインフラ整備や予算の使い方についても考えさせられ、又同時に自分自身の事業においても同様に、将来の為の投資・設備についても考えさせられる講和となった事を感謝しております。

講師略歴
大石　久和
一般財団法人
国土技術研究センター
国土政策研究所長
最終学歴
昭和45年
京都大学大学院工学
研究科修士課程修了
職歴昭和45年　建設省入省
平成5年　国土庁計画
・調整局総合交通
平成7年　建設省道路局
道路環境課長
平成8年　建設省大臣官房
技術審議官
平成11年　建設省
道路局長
平成14年　国土交通省技監
平成16年　（財）国土技術
研究センター理事長
平成25年　（一財）国土技
術研究センター
国土政策研究所長主
な著書名
「国土と日本人
災害大国の生き方」
「国土が日本人の
謎を解く」

マルヨ新潟会の発足と設立総会によせて

マルヨ新潟会災害防止協議会館員の皆様、大変に貴重な時間をいただきました。誠にありがとうございました。

なにぶんにも、新しい試みでもあり、手探りで進んでいかざるを得ない事もあろうかと思いますが、焦らず慌てずじっくりと進んでいきます。

当日も説明させていただきましたが、改めてマルヨ新潟会の設立趣旨等を説明させていただきます。

構成としては株式会社近藤組新潟支店、株式会社平成建設、有限会社コンドウの三社となります。今までは、以上の三社がそれぞれ業活動をおこなってきましたが、非効率的なところもあり、またそれぞれが力を発揮しきれないところも見受けられるようになってきましたので、今回　以上の三社が種々の情報交換なども含め、近藤組新潟支店を中心とした組織を立ち上げ、今後様々な企業活動を行っていく事にしました。

ただ、それぞれは、別々の企業です。それが1つの企業になる訳ではなく、それぞれが協力し合い、時として競争しあい、切磋琢磨して企業活動を行って行きます。

なにぶんにも、生まれたばかりの組織ですので、この判断で新潟市において企れから様々な決め事をしていかなければなりません。それらを整備しながら、少しずつではありますが活動の幅を広げていこうと考えていますので、今少しだけ時間をいただきたいと思います。

また今回、災害防止会の設立に際し、元国土交通省技監の大石　久和講師による講演も計画し、普段聞く機会の無い話を聞く事が出来たのも貴重な体験でした。

後日、何人かの方々から、講演を聞いての感想を文章でいただき、感謝しております。紙面の制約もありますので、今回はその中から代表して一つだけ紹介させていただきます。（紙面右下）

災害防止協議会館員の皆様のご協力をいただきながら、一日も早く確立した組織にしていきたいと思っていますので、よろしくお願い致します。

災害防止協会終了後に行われた親睦会の様子です。

高橋会長の開式の挨拶で幕が開き、みなさん思い思いに楽しまれたようでした。

以前からのお付き合いいただいている方たちはもちろんの事、今回から新しくご参加いただいた方々も、それぞれに打ち解けて楽しい時間を過ごすことができた様です。途中、津軽三味線の演奏なども楽しみ、午後5時30分から始まった親睦会は、まさに「あっ」という間に終了してしまった感じです。

最後は、いつも元気いっぱい小山副会長の景気の良い一本締めでの終了となりました。

マルヨ新潟会
災害防止協議会

㈱アサヒ
阿部工業㈱
㈲いけだ建工
内野農産㈱
ＳＴ建設工業㈱
㈱ｍ．ｏｄａ
大平建装
㈲大湊製瓦工業
おそうじ・サトウ
㈱上酒屋
㈱クリーンアップワシオ
㈱健装
研冷工業㈱
㈱工材
㈱光和製作所
㈱小新建設工業
㈱小林建塗工業
㈱小林工業所
㈱小林工務店
小山金属工業㈱
㈲佐藤鉄筋工業
㈱サンテック
㈲三和建設工業
三和シャッター工業㈱
進栄軽金㈱
㈱新建ナガキタ
すみれ建装㈱
㈱誠工創建
㈲大道組
タカシン内装
㈱たかだ新潟工事支店
㈲高野建設興業
㈱東港電機商会
㈱東新
ときわ設備㈱
㈱富岡鉄工所
㈱富山左官工業
内外商工㈱
㈱ナガオカサッシ工業
㈱西原衛生工業所
㈱バウハウス
浜谷電機
㈲福永管工業
藤工築㈱
㈱藤田内装建築
不二窯業㈱
星井産業㈱
星野電気㈱
堀設備工業
本田官業㈱
㈲諸橋建築
山真建設㈱
㈱吉田建興
らう造景㈱
㈱渡辺建設

（五十音順・敬称略）